



正月行事を子どもたちみんなで体験し、楽しみたい!と、「正月フェスティバル」を1月14日、初めて開催しました。もちつき、羽根つき、コマ回し、琴の演奏、足袋履き競争、着物の紹介など、盛りだくさんの一日でした。

♪羽根つき♪

管財の工藤さんと森田さんによるデモンストレーション。羽子板制作に協力してくれたお二人です。羽を落とすと墨でバツテンがつけられると知り、子どもたちは大喜び。今回はシールによるバツテンでしたが、「落ちた〜!」「バツテンだ!」と大興奮でした。テラスでも羽根つきの体験ができ、コン!コン!と良い音を響かせていました。



♪もちつき♪

火の通っていないもち米を触ったり、蒸したてのもち米を見たりした後、もち米を潰すところから見学しました。蒸したもち米のにおいをかぎ「いいにおい」「おいしそう」と、よだれをたらしそうな顔。もち米が潰れて粘り気が出始めると「音が変わった」と気が付く子がいました。だんだん米の形がなくなり、もちに近づいていきます。「よいしょ!よいしょ!よいしょ!」とかけ声をかけながら、みんなでキネを使ってもちつきをしました。シスターや理事長も参加しました!



理事長先生も「よいしょ!」



♪コマ作り・お作法のコーナー♪

折り紙で作るコマは、3種類の中から、自分の好きな形を折ります。3種類チャレンジして「できた!」と喜ぶ子もいました。

お作法のコーナーでは、畳の上でご挨拶。「ご挨拶するかたの目を見ましようね」と声をかけられると、自然と背筋が伸び、指先がそろい、いつもよりゆったりと綺麗なお辞儀になっていました。



♪的あて

こちらも大人気のコーナー。的に向かってボールを投げ、富士山やダルマなどの的に当たると大太鼓が鳴り、シールのお土産がもらえます。「あー、はずれちゃった・・・」「おおあたりに当たった!」「すごい、じょうず!」など、子どもの歓声が響き渡る部屋となりました。



♪着物の紹介、足袋履き競争、琴の演奏、年少児「おせち料理」のペープサート鑑賞♪



日本の様々な文化に触れた、楽しい一日になりました。